



平成 20 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 宝ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 大宮 久
(コード番号 2531 東証、大証 第 1 部)
問 合 せ 先 取締役 IR 室長 松崎 修一郎
T E L (0 7 5) 2 4 1 - 5 1 2 4

当社子会社(タカラバイオ株式会社)の業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社であるタカラバイオ株式会社(コード番号 4974 東証マザーズ)が、平成 20 年 1 月 31 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想を、添付資料のとおり上方修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社の連結業績予想の修正はございません。

(添付) タカラバイオ株式会社の開示資料

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。



平成 20 年 4 月 25 日

各 位

会社名 タカラバイオ株式会社
 (コード番号 4974 東証マザーズ)
 本社所在地 滋賀県大津市瀬田三丁目 4 番 1 号
 代表者 代表取締役社長 加藤 郁之進
 問合せ先 専務取締役 木村 睦
 TEL (077) 543-7212
 URL <http://www.takara-bio.co.jp/>
 親会社等の名称 宝ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 大宮 久
 (コード番号 2531 東証、大証第 1 部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の連結及び単体業績予想（平成 20 年 1 月 31 日公表）を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(1) 連結

(百万円未満切捨)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---------------------|--------|------|------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表予想 (A) | 20,300 | 400 | 650 | 630 |
| 今回修正予想 (B) | 20,278 | 560 | 876 | 679 |
| 増減額 (B-A) | △21 | 160 | 226 | 49 |
| 増減率 (%) | △0.1 | 40.0 | 34.8 | 7.9 |
| 前期実績 (平成 19 年 3 月期) | 20,982 | △215 | 65 | 320 |

(2) 単体

(百万円未満切捨)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---------------------|--------|------|------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表予想 (A) | 13,352 | △73 | 225 | 1,830 |
| 今回修正予想 (B) | 13,589 | 41 | 408 | 1,873 |
| 増減額 (B-A) | 237 | 115 | 183 | 43 |
| 増減率 (%) | 1.8 | — | 81.4 | 2.4 |
| 前期実績 (平成 19 年 3 月期) | 14,524 | △297 | 149 | 290 |

(注) 業績予想につきましては、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

2. 修正の理由

通期の見通しにつきましては、売上高は前回予想（平成 20 年 1 月 31 日公表、以下同じ。）を若干下回る見込みであります。利益面では、販売費及び一般管理費が前回予想を下回る見込みとなりましたので、営業利益及び経常利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

当期純利益は、固定資産除・売却損の増加が見込まれるものの、経常利益の増加が寄与し前回予想を上回る見込みであります。

以上のことから、当期の通期業績予想について、連結売上高は前回予想を下方修正いたしますが、単体売上高、連結及び単体の営業利益・経常利益・当期純利益を上方修正することといたします。

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。